

信濃川水系河川整備計画 沿川市町村懇談会 要旨

開催日時：平成20年11月21日（金） 13:30～15:30

場 所：信濃川河川事務所 3階会議室

議事次第：

1. 河川整備基本方針、河川整備計画について
2. 信濃川水系河川整備基本方針の概要と中流部の現状と課題について
3. 意見交換

○ 沿川市町村から頂いた意見

（魚沼市）

- 根小屋地区（魚野川右岸芋川合流部）、四日町地区（魚野川左岸小出駅裏）などの無堤防区間について、早期の改修をお願いしたい。
- 四日町地区（魚野川左岸小出駅裏）の改修に際しては、市が計画している親水公園計画実現に向けた協力をお願いしたい。
- 魚野川の支川から流入する堆積土砂（小出市街部）や雑木の密集（新柳生橋上流）の影響により洪水時の水位上昇が生じていることから、河川景観や動植物の生息等に配慮した上で河道の掘削、雑木の伐採を実施していただき、なお一層の維持管理の強化をお願いしたい。
- 子どものころ（魚野川は）本当に魚が豊富であった。川のあちこちでいろいろな人が魚をとる、魚釣りをするという風景が見られていたが、最近は消えているように感じている。
特にカジカ等石の下にすむ魚の隠れ家が、上流からの細かい砂が堆積し、ふさがれているのではないかと、個人的に感じている。
魚沼市にとって魚野川は一つの大事な観光資源であり、そういった面での配慮もお願いしたい。

（小千谷市）

- 洪水対策として平成14年から行っている東小千谷地区の改修事業が、来年（平成21年度）完成する見込みということで、感謝している。
- 上片貝地区、卯ノ木地区は信濃川に半島のように突き出た無堤防の集落であり、洪水時になると玄関先まで浸水する状況にあり、河川整備計画の中で検討いた

だきたい。

小千谷市は河岸段丘と蛇行の顕著な地域であり、自然崖の川岸が非常に多く、岩沢地区、時之島地区、細島地区、真皿地区などの段丘地の住宅では、増水による河岸崩落の危険も心配されることから、県の急傾の関係もあると思うが、護岸の補強対策についても検討いただきたい。

- 信濃川は上水道、工業用水道、発電、農業用水等々、広く利用されており、豪雪地帯である小千谷市は、流雪溝用水についても活用している。
東小千谷地区の流雪溝用水として、信濃川からの水利使用を計画していきたいので、検討いただきたい。
- 小千谷市には五辺の水辺があり、非常に水辺の自然の豊かなところで、人と自然がふれあう空間を創り出している。
- 東小千谷地区や真人地区において、運動公園、河川公園などを整備し、河川空間の有効利用を目指していきたいので、ご協力をお願いしたい。

(津南町)

- 飯山市から十日町市の間約 40km の県管理区間をぜひとも直轄区間にしていただきたい。
沿川の 4 市町村が長年にわたって運動を展開してきたが、いまの段階では県管理区間になっている。早急な直轄管理をお願いしたい。
- 河川整備基本方針では、上流部の「狭窄部の河道掘削にあたっては、下流部への影響を考慮し、治水安全度のバランスを図りながら適切に実施していく」とされており、上流部の河道掘削等が行われれば下流に大きな影響を及ぼすことは必至であり、これまで以上に大きな災害が発生するのではないかという危惧があるので、河川整備基本方針どおりの適切な対応を実施していただきたい。
基本方針を実践するためには水系の一貫整備が必要であり、ぜひとも早期にこの区間を直轄区間編入し、河川整備計画の中に組み入れていただきたい。

(燕市)

- (大河津分水路) 可動堰の改築工事について、順調に進捗しているということで、感謝している。
- 河川については治水対策が第一と考えており、大河津分水路の抜本的な改修を

河川整備計画の期間内に、着手、完成していただきたい。

- 大河津分水路右岸地区の地すべり地帯の抜本的対策をお願いしたい。
(大河津分水路) 第二床固の抜本的な対策もお願いしたい。
- あってはならないことだが、非常の事態になった場合に、新潟市の市街部など莫大な被害を被ることになるので、(大河津分水路) 上流部の約5 km については、溢水しても破堤しない、スーパー堤防の整備をお願いしたい。
- 大河津可動堰の改築に併せて新たな高水敷ができるが、その利活用について相談に乗っていただくとともに、市民の利用できる施設を考えていただきたい。
- 五千石樋管では分水路の水位上昇に伴い内水が排除できなくなるため、内水対策として排水機場の設置をお願いしたい。
- (大河津分水路の) 水衝部で、堤防が非常に細い部分があるので、堤防の強化をお願いしたい。

(十日町市)

- 十日町市では、信濃川において直轄区間と県管理区間が存在しているが、地元にとっては「一つの川」であるので、両区間で連携を図った河川整備計画を策定し、区間による整備の隔たりがないようにお願いしたい。
- 発電用取水のために「本来川にあるべき水がない」ことが、河川環境保全と親水に大きな影響をもたらしている。このことが地域住民を川から遠ざけている一因であることを理解していただいた上で、この流域における流水の正常な機能維持について、河川整備計画に反映させていただきたい。
- 流水の正常な機能を確保することによって、この流域の水環境改善が行われると考える。
極端な減水状態が解消され、新しい姿になった時点の河川を見据えた河川整備計画を策定していただきたい。
水環境保全のため、継続した調査を河川整備計画の中で検討いただきたい。

(長岡市)

- 信濃川水系の河川整備計画を策定するにあたって、一番重要なのは治水だと思

うが、環境の保全、河川の利用を踏まえながら、バランスの取れた河川整備計画を立てる必要があると考えている。

- 信濃川は市の中心部に広大な空間を有しており、市民が信濃川に親しむ空間として整備してほしい。

特に長生橋付近から長岡大橋辺りまでは、長岡まつりの大花火大会の会場になっており、全国から80万人の人出がある。

この空間をまつり以外の期間にも観光客から訪れてもらえるような空間、市民が水に親しめる空間として整備することは、市や信濃川にとっても大きなメリットがある。

河川内を手つかずの緑地として保全することも大切だが、メリハリをつけてこの地区については、人が快適に過ごせ、川に親しめる空間として整備してほしい。

- 長岡地域において、左岸側で蔵王橋上下流、長生橋上流、右岸側で西藏王地区で、暫定堤防の区間が存在している。

治水上の観点から早期に改修をお願いしたい。

- 太田川合流点付近の水衝部で進んでいる洗掘の対策を早期をお願いしたい。

- 大河津分水路について、信濃川中流部で最も洪水処理能力が小さく、第二床固も老朽化が著しいため、抜本的な改修をお願いしたい。

(南魚沼市)

- 南魚沼市では、六日町大橋付近で官民協働の河川環境整備を行っており、このエリアを「川の駅」の拠点とし、防災を含めた地域の交流拠点として整備を推進している。

直轄区間においても、地域の住民が川に親しみながら「まちづくり活動」、「コミュニティ形成活動」を推進する拠点にしたいと考えている。

市街地に近い、八海橋、九日町橋、多門橋等の付近に「川の駅」拠点エリアを目指し、船着場の復元、低水護岸の整備をお願いしたい。

これらの事業により災害の防止や非常時の物流の拠点として、地域市町村の利用が図られることから、住民が安心して暮らせる環境が一層整備されるものと思う。

- 奥只見レクリエーション都市公園「浦佐地域」周辺は、医療施設、教育機関等

があり、住環境が特に優れた地域。

これらの地域では、健常者だけでなく、福祉施設利用者の健康増進やリハビリなどへの活用を図る環境整備を行っている。

これらの施設とあわせ、魚野川と水無川の堤防を周遊するウォーキングロード、桜つつみを整備する構想がある。

老人や障がい者等に優しいこれらの環境整備と一体となった河川整備を推進していただきたい。

－ 以上 －